

みどりひと



みどりの新聞 平成17年10月20日 発行 No.132

川沿いの風景…

今昔

其の二

杉並には善福寺川、神田川などという自然の川がありますが、人力により開削され歴史的に有名な「玉川上水」もあります。

多摩川から羽村の堰を取水口とする玉川上水(約43km)はかつて江戸市民の飲料水を確保しただけでなく分水路(約30余)が開かれ武蔵野台地の新田開発に大きく貢献しました。完成年月については諸説ありますが、玉川上水を作った玉川家の記録では、承応2(1653)年に着工し、約7ヶ月の突貫工事で同年11月に完成した、とあります。歴史的にも興味深い史実がたくさん残されていますが、今回は現在の杉並における玉川上水の、「水路」「道路」「公園」という三つの顔をご紹介します。

水路



三鷹市内からの水路を受ける新・旧牟礼橋(煉瓦造りアーチ形)から浅間橋跡暗渠口まではサクラ、マツ、ケヤキその他多種の雑木が帯のように続きます。周辺の緑とともに武蔵野の風景を四季を通じて満喫できる地域です。

浅間橋から玉川上水公園の間は大規模都市計画推進により(中央自動車道・首都高速4号・甲州街道整備など)昭和41(1966)年に残念ながら暗渠化され、下を放射5号線、上を首都高速が立体伴走していますが歩道は広く、車道側にイチヨウ並木、並木の裾に低木の生け垣と工夫され散策に適しています。

道路



この玉川上水の3つの顔は、都市のみどりの維持・管理の難しさを考えさせられる代表的な姿でもあります。

公園



「玉川上水の変遷」の碑が公園入り口にあり和泉給水所まで続き、玉川上水第二公園/玉川上水第三公園/永泉寺緑地とからなり部分的に昔の堀跡が残され往時を偲ぶことができます。常緑樹に被われている緑の帯が続き、

日本庭園風に石を配した部分もありここも散策に適した地域です。左手には築地本願寺別院和田堀廟所や龍泉寺などの寺院「永福の寺町」に接し、続いて明治大学和泉校舎の緑とも続いております。

園芸ワンポイント 秋植え球根

緑に関する専門相談は
塚山公園みどりの相談所
くさばな
☎3302-9387
(毎週土・日曜日)

春の訪れとともに賑やかに咲き誇る秋植え球根の植え付けの季節になりました。(9月～10月)
秋植え球根は温帯地方の原産ですから、秋の涼しさで発根発芽し、冬を越して春に開花します。
耐寒性の強いものが多く、ほとんどの種類が露地で越冬できます。

植え込み場所

球根草花は特に花が咲いた時に移植できないものが多いので、移動させたい場合は鉢植えかプランターが良いです。

日当たり、排水のよいところ、砂質や赤土ばかりのところは腐葉土や堆肥のような腐植質のものをたっぷり使い、緩効性化成肥料を植込場所 1㎡ に対して 250g、鉢やプランターならば土 1ℓ に対して 3g 位を混ぜて使います。

植え込み時期

球根は地温が 17℃ 以下になるころから活動を開始します。およそ 10 月中旬のことです。秋植え球根はその中に花が咲くまでの養分を貯えています。遅く植えたとしても開花に支障はなく、花は咲きます。しかし、遅くなればなるほど次の年にできる球根の充実程度が悪くなります。

毎年よい花を咲かせるためには球根を植え込むときに十分肥料を与え、花が終わった後も葉を大切に球根にできるだけ多くの養分を貯えさせるようにします。

球根の植込みの深さの目安

球根の種類	深さ (cm)	植え付け間隔 (cm)
アネモネ	3	15
オキザリス・ポーウィー	5	5
フリージア	5	8
カンナ	5	50～60
ランキユラス	6	18
トリトニア	7	10～15
クロッカス	7	15
ダリア	5～10	30～40
フリチラリア	7～10	15
カラー	10	20
シラー・カンパ・ニューラータ	10～15	10
スイセン・バルボ・コディウム	10～15	12
ダッチアイリス	10～15	15
グラジオラス	10～15	15
エリストニウム	15～20	7
ヒヤシンス	15～20	15～20
リコリス	15～20	15～25
チューリップ	15～25	10～20
コルチカム	15～25	20～25
ラッパスイセン	20～30	30
ヤマユリ	30～35	30

指導：塚山公園みどりの相談所 福本 伊之助 先生

(仮称) 天沼公園 整備の準備が始まりました!

萩 窪駅の喧騒から離れること北に 400 メートル、堀に囲われたこんもりとした樹林地が現れます。ここは、かつて池畔亭という料亭があり、平成 16 年に区が公園用地として取得した(仮称)天沼公園の予定地です。広さ約 1,600 坪、杉並を西から東にかけて流れていた桃園川の水源の一つである天沼弁天池があった地域でもあります。

中に入ってみると萩窪界隈に在ることを忘れてしまうような、鬱そうとした木々が茂る日本庭園がありました。落ち葉の降り積もった地面をしげしげと眺めると...キノコやネズミの姿も...。区では、まとまったみどりの少ない天沼地区で貴重なみどりであるこの場所を、地域の防災拠点のひとつとして公園にするために天沼地区密集事業*の一環で整備計画を進めています。

*密集事業：木造住宅密集地域での住環境の改善・防災性の向上を目的に、道路・公園等の整備や良質な共同住宅への建替え促進などをする地方公共団体に対して、国や都が必要な助成を行う事業。

計画にあたっては地域のかたがたの意見を取り入れるために、8月18日に第1回、9月21日に第2回の公園づくり説明会が、また、9月11日・14日には園内の見学会が実施され、多数の参加者がありました。

みどりとひとでは、この公園整備の今後の動きを、次号以降もお知らせしていく予定です。



緑の歳時記

杉並区内でよく見られる

ドングリ

ドングリはブナ科の殻斗かくと(お椀や帽子と呼ばれている部分です)を持つ木の実の総称です。

1 クヌギ - 落葉広葉樹

ドングリは樽型や球形で大きく、オカメドングリともいいます。殻斗は細長い鱗片*でらせん状におおわれています。お椀型で浅いものや深いものがあります。



2 コナラ - 落葉広葉樹

ドングリは細長い卵型。殻斗は深い杯型でとがった鱗片がびっしり付いています。



3 マテバシイ - 常緑広葉樹

ドングリは砲弾型。殻斗は浅いお椀型で、お椀の下の方は長四角形、上の方はとがった鱗片がびっしり付きます。炒ったり茹でたりして食用になります。



4 スダジイ - 常緑広葉樹

ドングリは細長い卵型。殻斗は卵型にドングリを包み、ドングリが熟すと上の方から三方向に裂けてきます。生でも食べられますが、炒ればなおいしいです。



5 シラカシ - 常緑広葉樹

ドングリは卵型。殻斗はお椀型で、輪が積み重ねたようで6段です。



杉並区内では柏の宮公園、蚕糸の森公園、和田堀公園、善福寺川緑地などで見ることができます。

*鱗片：うろこ状のもの



みどり探訪

杉並のみどりとそれに関わる方々をご紹介します。



有料老人ホーム「アライブ荻窪」

春の花便りで待ちこがれる桜は三春の滝桜を接ぎ木したベニシダレ、武蔵野の雑木林の象徴のケヤキは樹齢120年の見事な株立ち、杉並をイメージした杉はキタヤマダイスギで……。花、新緑、紅葉と四季の変化を楽しませながら、生き続けることを力づけようという思いが込められた緑です。

入居者には勿論、地域に親しまれる景観、散歩コースとして立ち止まりたくなる道にしたいと思って作ったという、設計した方の思いがエントランスガーデンに立つと良く伝わってきます。

一つ一つ丁寧に選び抜かれた樹木であることを知ると、どんな成長を見せてくれるのか楽しみになります。千年も咲き続けている桜の子孫がこの地で我々の知ることのできない時の流れを見続けるのかと思うと悠久のロマンを感じさせられるではありませんか。



「^{ふうち}風致地区」って？

街路樹の葉も日ごとに色づいてきています。さて、2回目の今回は「風致地区」についてお話ししたいと思います。



その始まりは大正時代にまでさかのぼり、都市における自然環境の優れた地域において、特に樹木、樹林、そして水辺などの良好な自然が確保された美しい街並みを形成し、優れた住環境を守るために、都市計画法に基づき「風致地区」が指定されました。

美しい自然環境は多くの生き物の生息場所を提供するだけでなく、良好な景観を創り出し、人々の生活に潤いをもたらします。高度に都市化が進んだ東京、特に23区内では大きな緑地は残念ながら少なくなってきていますが、風致地区には今でもみどりの残っているところが多くあり、東京にいながら自然を感じることでできる数少ない空間を形成しています。

また緑に囲まれた風致地区ではオープンスペースが多く災害時の避難場所となるだけでなく、炎の延焼を防ぐ防火帯の役割や、都市部のヒートアイランドを和らげ、周辺環境への冷却効果があるといわれています。

風致地区は、美観への意識を高め、みどり豊かな自然環境を守るために、建物の建築、宅地の造成、樹木の伐採などを行う場合、一定の規制を設けています。

杉並区では昭和5年に善福寺地域（善福寺1、2、3丁目）が、昭和8年に和田堀周辺地域（大宮1、2丁目・永福4丁目・堀ノ内1、2丁目・松ノ木1、2丁目・成田東1、2丁目・成田西1丁目・浜田山4丁目）が風致地区として指定されました。

対象地域は番地によって指定外の部分もありますので、詳しくはみどりの事業係に問い合わせてください。

風致地区には現在でも戦前からのみどりが残るところが多くあります。あなたの住んでいる地域が風致地区であるとしたら、それは幸運なことなのかもしれません。

次回は接道部緑化助成についてお話しします。

公園緑地課みどりの事業係 内線 3596

ご意見・ご感想等をお寄せください。

みどりひとでは読者の皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、紹介したいみどり等ございましたら下記の連絡先までお願い致します。

＜編集後記＞ 「みどりひと」は「みどりのボランティア杉並」と協働で編集をしています。

- ◆ 近所の人達が植物の植えてある鉢を持って相談にこられるそうです。みどりの相談室が中央線の北側にもあったらいいなとおもいました。（吉）
- ◆ 我田引水にならないよう編集室は毎号苦慮しております。読者からのご意見が最大の肥料になります。（芦）
- ◆ 今年は街、里、山で木の実がなり年です。東北ではブナやツノハシバミが見事でした。山のクマさんもほっとして里に降りて来ないのでは、と思っています。（山）
- ◆ 涼しい風を感じる頃となりました、緑の葉も色を変える準備、過ごしやすい秋、私の一番好きな季節です。（青）
- ◆ この新聞の編集に参加して1年、区内で緑の魅力スポットを探し、訪ねる新しい喜びを得ました。（松）

みどりの新聞 132号 平成17年10月20日発行

【編集】みどりのボランティア杉並
【編集・発行】杉並区都市整備部公園緑地課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

R100

PRINTED WITH
SOY INK™

この印刷物は、大豆油インクを使用しています。また、古紙配合率100%再生紙を使用しています。